

協会ニュース



協会設立50周年を迎えて 10

2024

会員の皆様にはすでに今年度の事業計画でお伝えいたしました。H25年10月にスタートした就労継続支援A型事業所『FoodLabo菜果』をB型事業所にする事になりました。

残念ながら現状では利用者の皆さんに最低賃金を保証しながら事業を継続していくことが困難になったためです。

4/30にはB型事業所としての開設申請を提出しました。開設予定日は7/1です。

開設が認可されたらA型の廃止届を出しますので、廃止は6/30ということになります。

それまでの期間はA型のまま事業を行います。

確かに事業所としての力不足の結果ではありますが、国の制度上の方針によるものであることを利用者の皆さんにご理解いただくように説明しました。

現在、利用者の方々と今後について話し合っています。

どんな働き方や生き方をしていくのか…、お金や時間、そして自分の持っている力の使い方について…相談支援事業者の方とも相談しています。



今回の菜果のような場合だけでなく、高齢社会においては定年後の再雇用など第2の働き方を考える方々は大勢いらっしゃいます。

年金受給までの収入を得る方法として再就職や再雇用を選択する方の中には、今までの職場とは別のところで全く違った仕事をしてみたいという方、今までやってきた仕事以外は無理だから今の職場で再雇用してもらおうという方等、様々な思いがあるでしょう。

働くのを止めて、退職金やこれまでためたお金で今までやれなかったことをやろうとする方もいると思います。自分がいざその時になってもなかなか決心がつかないかもしれません…。

菜果の方々も収入が下がっても今まで同様の環境で仕事をしたいという方もいます。これを機に新たな生き方を考えてみようという方もいます。

私たちは菜果を「働く場」としてだけ提供してきたのではなく、働くことを通して自己実現を、生き方を一緒に考える支援を続けてきました。B型になってもこの姿勢は変わらず、利用者一人一人に思いに寄り添った支援をしていきたいと考えています。

(事務局)



活動報告 2024 3月 弥生 ~ 4月 卯月

フォト日記 ジョイ2 ランチの会 菜果弁当の巻 before

本日のランチの会は、会津社会事業協会直営店「菜果」の“菜果弁当”。物価高騰の今時、ワンコインで食べられるお弁当。店長曰く、『某店舗よりはお値段お高いけれども、お味と中身で勝負！メイン商品「日替わり弁当」、定番商品「烏竜田揚げ」、安心のお味「カレー弁当」と、どれも愛情いっぱいです』とのこと。ほっこりお弁当で食卓を囲みました。今日のお味もピースと、ピースサインがいっぱい。ごちになりました。



フォト日記 ジョイ3 ゲームの会 菜果弁当の巻 after

本日の活動は、ゲームにいそしむ会です。但し、菜果のお弁当付です。「お弁当いらんかね〜」の甘いささやきに誘われて、今日もにぎやかなジョイ3です。オセロゲームにトランプ、将棋に etc. さていよいよ、昼食の時間となりました。「烏竜田揚げ」、「カレー弁当」、「ソースカツ丼」に「日替わり弁当」と一部メニューが変更になっていました。そして、よく見るとパッケージも変わっているではありませんか… チョット、ニューフェイスかも…



ここで皆さんにお知らせがあります。実は物価高騰の折、菜果のお弁当が100円値上げされ600円になりました。企業努力はなされていたそうですが、値上げに踏切らざるを得ない状況だったそうです。メニューも一部変更になり、ご飯の大盛りやトッピングはなくなり、選びやすく?なっています。尚、ご注文の際、メニューにて確認頂ければ幸いです。以上「ガンバレ菜果」でした。菜果をこれからもよろしく。



今日のジョイのイベント… お弁当600円ですが、ジョイから500円補助されたので、実際私たち個人の支出は「100円」でした。お財布に優しくとても助かりました。ありがとうございました。&ごちそうさまでした。今後もご支援よろしくお願ひします。私たちの日々の食事も工夫されたメニューを提供していただいて、おいしく頂いています。ごちそうさまです。



フォト日記 ジョイ3 花見 2024 4.12

今日は、快晴、絶好のお花見日和、しかも、快晴…ということで、お日柄よろしく桜も満開。ジョイ1がこだちへ引っ越しのさなか、“好調な船出を夢見て…”という想いの中で…

参加の顔ぶれはいつもの面々でしたが、ちょっと違ったところは欠席者があったこと!? 人数少なめ、全体的に漂うスリム感、落ち着いた感じ!?…があったのかも…かわちやとセブンの二班に分かれ、お弁当を購入、いざ出発。目指すはお馴染み“お諏訪様” 足取り軽く、誰かの歌う“鼻歌が”聞こえてきそうな雰囲気もちょっとありましたが…



想い想いの場所で
ランチタイムです



ひとこま 一売店での出来事

先日、グループホーム内売店のドアが壊され、お菓子がなくなるという出来事がありました。

いったい誰がやったのかと調べていたところ、普段よりも落ち着かない様子がみられたことや、居室の状況（お菓子の空袋がいっぱい）から、Cさんの可能性が高いと思われ、私たちはCさんに確認することにしました。

スタッフ「私たちに何か報告することはない？」

Cさん「なにもないよ！なんかあったの？なんか疑ってんの？！」

そんなやり取りを繰り返し、最終的にCさんは自分がお菓子を盗ったと白状したのですが…



Cさんに限らず、利用者さんの中には不適切な行動を繰り返してしまう人たちがいます。

スタッフが毎回頭を悩ませるのが、本人に「どう“落とし前”をつけさせるか」です。

「ごめんなさい、もうしません。」と謝罪し、反省すれば許されるのか？

「器物損壊や窃盗」として被害届を出し、司法にお任せするのか？

「ルール」を破ったら退所してもらうのか？

不適切な行動や軽微な違法行為をしても、結果として本人の生活は変わらず続いていく（起訴されなかったり、退居させられなかったり）ことが多いので、本人は解決したものと感じて、再び同じことを繰り返すという、誤った学習に繋がることが多いです。一方周囲からは「なぜ悪いことしたのにお咎めなしなのか？おかしい！」という声がかかることもあります。

今回、私たちはCさんに「毎日洗濯する」「1週間、ジョイへの出入りは禁止」「今までとは別の日中活動場所で“修行”をする」という、いわば「罰」を受けていただくことにしました。

支援の基本は「ストレングスモデル」であり、「罰で人を動かす」のではなく「なりたい自分になれるように良いところを伸ばす」ことだと思えます。

それでもあえて「罰」という方法をとったのは、Cさんがなりたい自分になれるためには、今回のことをこのまま終わらせずに自分のしてしまったことに向き合っていただくことが必要だと考えたからです。

どう関わっていくのがより良い方法なのか…皆さんはどうお考えになるでしょうか？

ストレングスモデル

人は誰も「弱み」と「強み」、「できないこと」と「できること」を持っています。対人援助において、「弱みやできないこと」への**がんばれの支援**ではなく、「強みやできること」を伸ばしてあげる支援をする、「リカバリー的な考え」を持つことに変化してきています。

編集後記

皆さまお変わりなくお過ごしのことと思います。

春の日差しに誘われて、ウキウキ気分になりたいところですが…
新年度事業として、事業内容の検討、ジョイ1の引っ越しや菜果の事業変更…書類整備から現場の仕事、日常の利用者さんの対応等々…山積する仕事をこなしていく日々が続いているところです。コロナにインフル、花粉症に黄砂、注意一秒 怪我一生…